業務用セミドライフォグ加湿器
【潤霧 Ⓡ】取扱説明書

空気清浄機・加湿器・除湿器レンタル専門店

笑顔のバトンタッチ
上州物産株式会社

〒379−2166
群馬県前橋市野中町369−2
TEL：027−289−6080
FAX：027−289−6166
緊急連絡先：080−5643−7181

空気清浄機・加湿器・除湿器レンタル専門店
ホームページへアクセスする場合はこちらの
QR コードを読み込んでください。

目次

・消費電力確認のお願い
・ノズルが詰まったときは・メーカー取扱説明書

・返却時の梱包方法
・梱包時PPバンドの使用方

【レンタル商品の消費電力を御確認下さい】

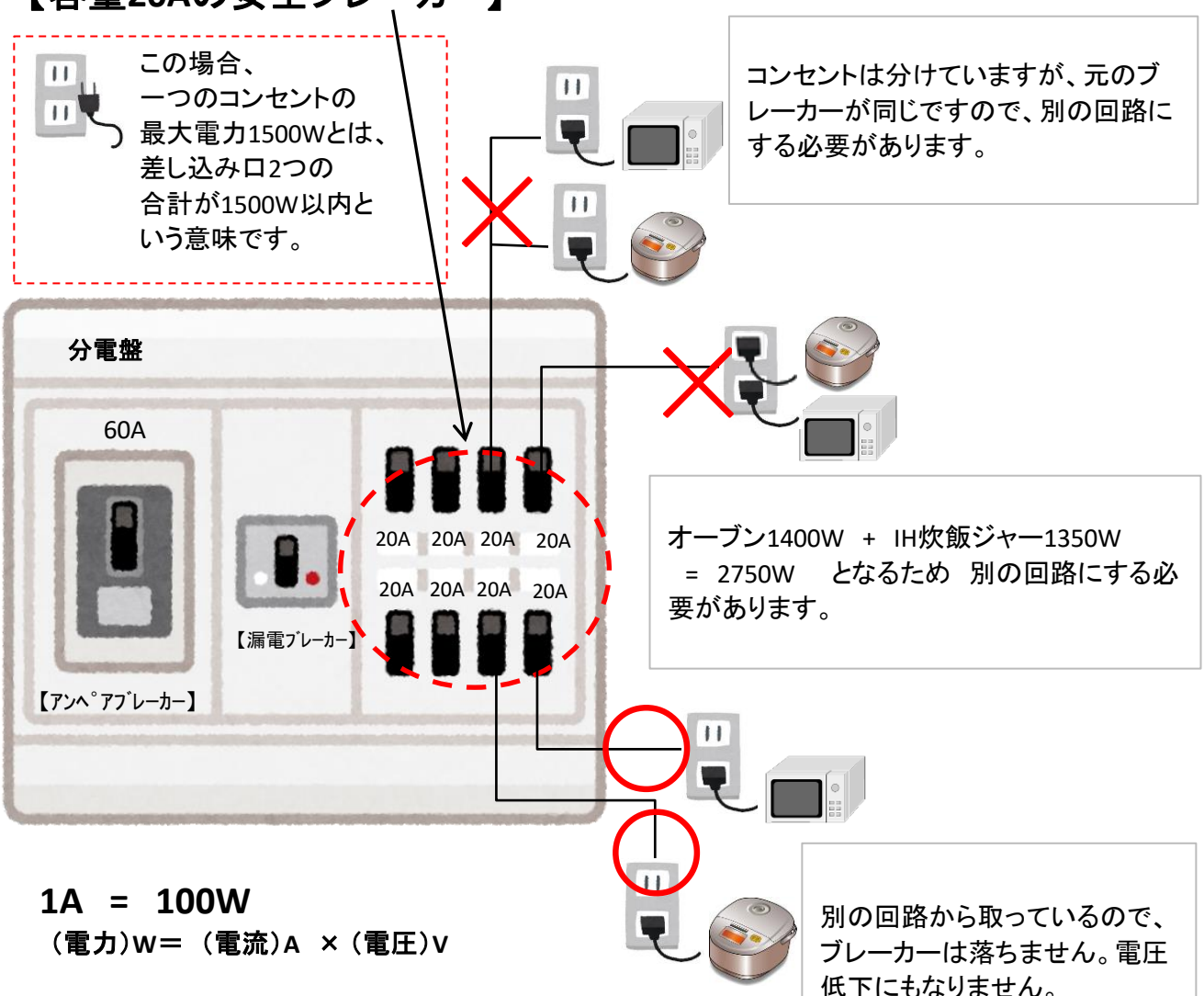
ご利用商品によっては、たこ足配線等が原因で電圧が低下する恐れがありますので、
ご注意下さい。
電圧が低下すると、商品が正常に動作しない場合がございます。

突然作動しなくなった場合は、建物のブレーカーが落ちた可能性がございます。

また、**一つのコンセントの最大電力は1500Wまでとなります。**
複数台の電化製品を使用する場合、コンセントを分けても元となるブレーカーが同じ場合は
電圧低下となる可能性が高いです。
その場合、**コンセントを分けるのでなく、ブレーカーの回路を分けてお使いください。**

商品を正常にご利用いただく為に、お客様の利用環境を御確認ください。

【容量20Aの安全ブレーカー】



1A ＝ 100W
（電力）W＝（電流）A ×（電圧）V

※日本の電圧は100Vなので、100W=1A×100V

上州物産株式会社

【ご使用上の注意】

長時間使用すると、ノズルがカルキで詰まり、水が出なくなることがあります。

◎水が出ない場合◎
クエン酸を溶かした水またはぬるま湯に１時間程度ノズルを浸けると、カルキが取り除かれ、詰まりが解消されます。

お手数ですが、カルキが原因でノズルが詰まった際は、お客様ご自身で取り除いてからご使用ください。

NKG17M148-2

（セミドライフォグ® 加湿ユニット）

潤霧® うるむ

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品は、タンクに給水した水をポンプと特殊ノズルで
「濡れない霧（セミドライフォグ®）」にして噴霧する加湿ユニットです。
本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

もくじ

安全上のご注意……1
附属品の確認と各部の名称……2～3
移動と設置について……4
運転手順……5～10
日頃のお手入れ……11～14
保管方法……15
故障かな?と思ったら……16～17
交換部品リスト……18
仕様……19
メンテナンスのご案内……20

フォグエンジニア 霧のいけうち

安全上のご注意

ご使用の前に

この説明書では、ご使用者への危害や損害を未然に防ぐための注意事項を「警告」と「注意」に分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警　告 ⚠ 取扱いを誤ると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容です。

注　意 ⚠ 取扱いを誤ると、傷害又は物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警　告 ⚠

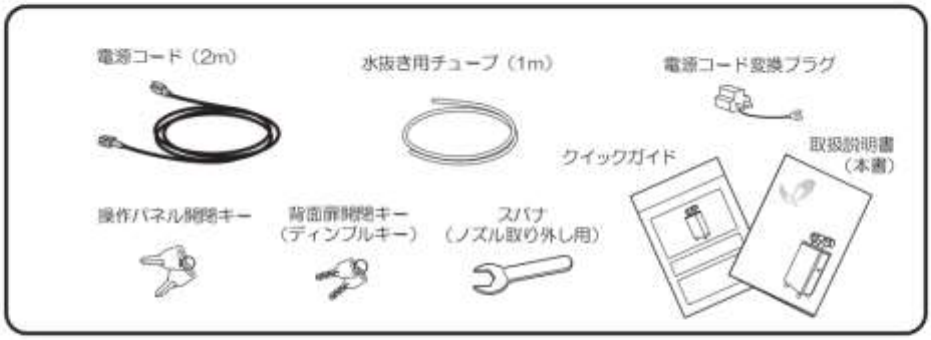
コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外で使わない AC100V以外、又はタコ足配線などで定格電流を超えると発熱による火災・感電・故障の原因になります。	吸気口や送風口に指や金属等の異物を入れない 故障やけがの原因になります。
焦げ臭いにおいなど、異常時は運転を停止して電源プラグを抜く 火災・感電・故障の原因になります。 運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・けがの原因になります。
電源プラグ・電源コードを傷つけない、引っ張らない、束ねない、上に物を載せない 電源コードが破損して火災・感電・けが・ショートの原因になります。	お手入れに塩素系・酸素系洗剤は使わない 洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。
電源プラグにホコリが付いているときは取り除く ホコリが溜まると絶縁不良となり、火災・感電の原因になります。	幼児の手の届く所では使用しない 転倒などによる、感電やけがの原因になります。
分解や改造をしない 発火や異常作動による、火災・感電・けがの原因になります。 修理はお買い上げの販売店にご相談ください。	電源プラグは、根元までしっかり差し込む 差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因になります。
手押し用取っ手にもたれかからない 機器が転倒し、思わぬ事故につながる恐れがあります。	お手入れ時は、電源プラグを抜く 不意に作動して、感電やけがの原因になります。
管理者以外は近づけない/操作しない 機器の転倒や、思わぬ事故につながる恐れがあります。	本体に水をかけない 本体内部に水が入り、感電・ショート・火災の原因になります。
	不安定な場所に設置しない 機器の転倒や、思わぬ事故につながる恐れがあります。
	設置の際はキャスターをロックする 機器の転倒や、思わぬ事故につながる恐れがあります。

注　意 ⚠

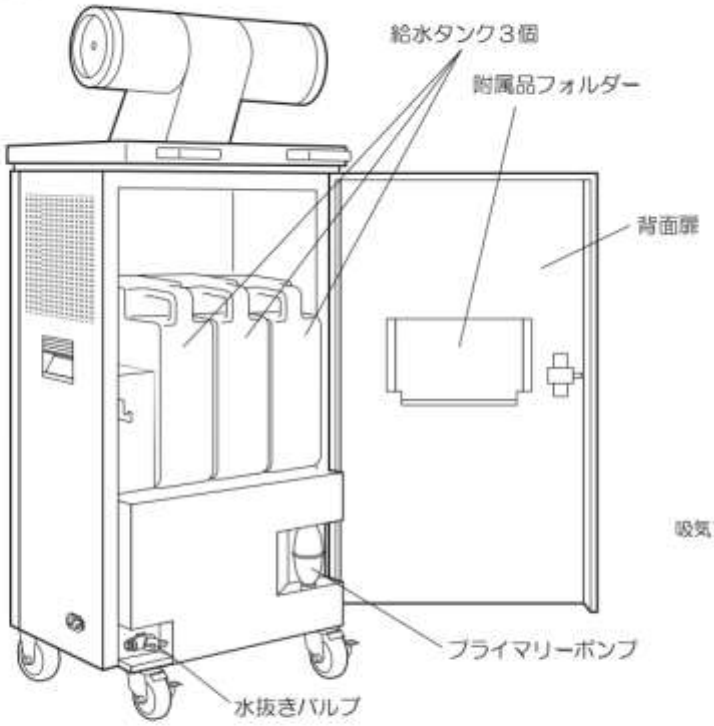
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず必ずプラグを持って引き抜く 断線して発火することがあります。	毎日続けて使用しないときは、1日の終了時点で本体内部やタンク受けの水を排水する カビや雑菌が発生し、悪臭の原因になります。
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電・漏電、火災の原因になります。	使用温度範囲(5～40℃)外で使用しない 故障の原因となります。
吸気口を塞がない モーターの発熱や霧の蒸散が不十分になる恐れがあります。	吸気フィルターは週一回取り外して掃除する
定期的に部品各部を点検し、少しでも異常や破損を発見したときは、使用を中止し、販売店にご相談ください。	

附属品の確認と各部の名称

本製品には下記部品を附属しています。
万一部品が不足している場合はお買い上げ店又は当社窓口にご連絡ください。

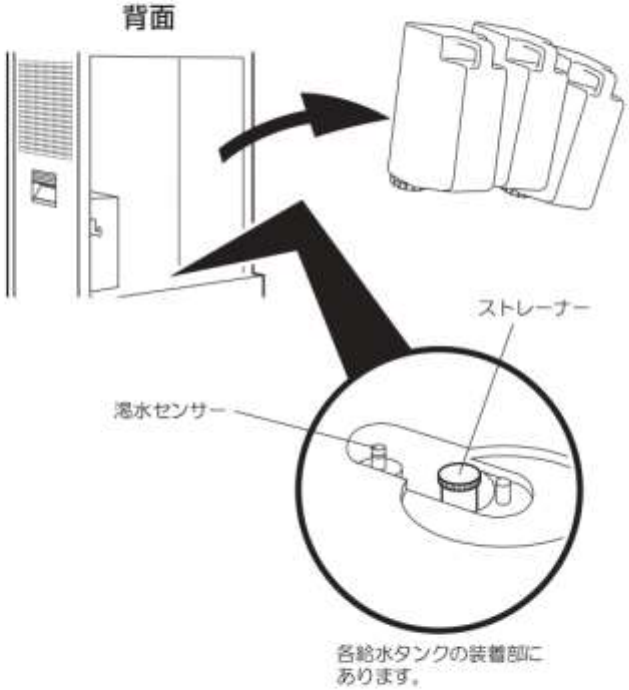


背面


給水タンク3個
附属品フォルダー
背面扉
プライマリーポンプ
水抜きバルブ

吸気フィルター
背面

背面


ストレーナー
漏水センサー
各給水タンクの装着部に
あります。

温湿度センサー
ファン

移動と設置について

本製品を設置する前に

施設利用者の安全を確保するために、本製品を設置する場所に移動する前に、あらかじめ別の場所で使用上の注意点や操作方法、メンテナンス方法をご確認ください。

1. 移動と設置について

本製品は、移動用にキャスターと手押し用の取っ手が付いています。
移動する際は、後方キャスターのロックを解除して
手押し用取っ手を押す又は引きながら移動させてください。
キャスターのロックは OFF 側を踏んで下に下がると解除されます。

警 告 ⚠

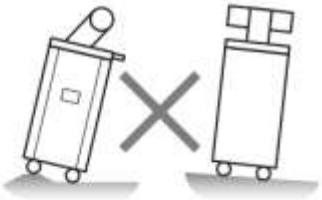
本製品の満水時の総重量は60kg以上になります。
段差のある場所で、本製品を持ち上げる際は、必ず二人以上で
両側面の持ち上げ用取っ手を持って移動してください。
移動の際、本体を斜めや横倒しにしないでください。
転倒してケガや破損等の重大事故につながる恐れがあります。

注 意 ⚠

本体内部のポンプにはオイルを使用しています。 横倒しにすると、オイルが漏れ出します。

設置場所までの移動経路に段差がある場合は、給水タンクを外して、本体と分けて運搬することをお勧めします。

設置場所のご注意 ⚠



凹凸のある場所や傾斜面には設置しないでください。

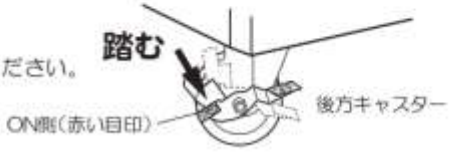
人が往来する場所に設置する際は、電源コードに足を引っ掛けないように対策してください。

吸気口と壁の間は10cm以上離してください。

■水の補給は給水タンクを取り出し行いますので、背面扉が容易に開けられる場所に設置してください。

2. キャスターをロックする

設置場所への据付が完了しましたら後方のキャスターをロックしてください。
赤い目印がある側を踏むと金具が下がってロック状態になります。

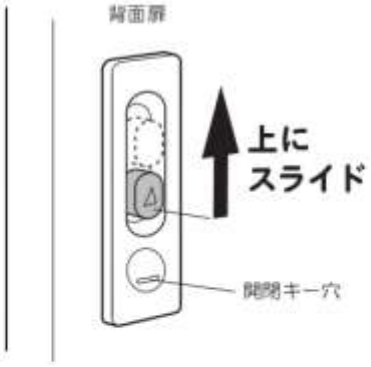


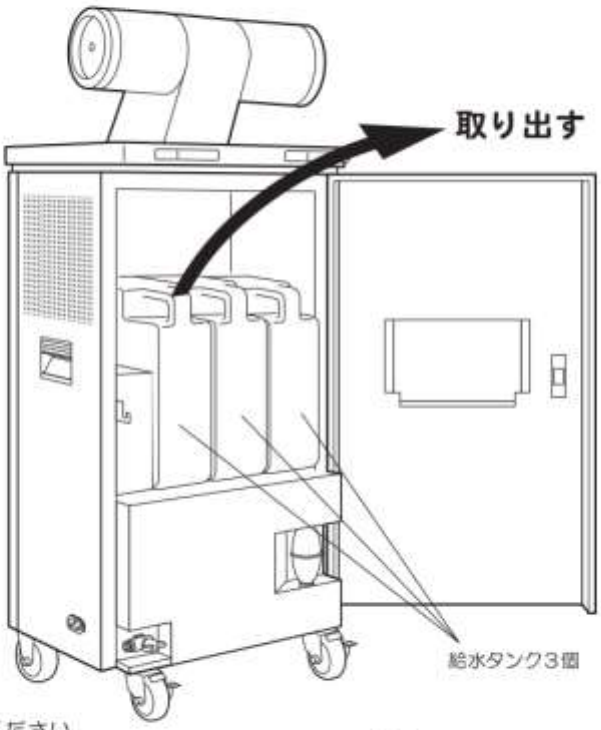
運転手順

ここでは初めてお使いになるときの各種操作方法をご説明していますが、
毎日の運転前にも同様の操作が必要ですので、運転手順を充分ご理解の上操作してください。

1．給水

毎日の作業として、製品背面の扉を開けて３個の
給水タンクを取り出し、新しい水を給水してください。
付属の背面扉開閉キーで背面扉のロックを解除し、
下図の部分を上にスライドさせると、背面扉が開き
ます。
給水タンクは取っ手を持ち上げると取り出せます。





給水タンクを上下逆さまに置いて、キャップを外してください。
給水タンクは１個あたり６リットルの容量があります。
水道水を満水近くまで入れてください。
給水後は必ずキャップをしっかり閉めてください。

注 意 ⚠

キャップはしっかり閉めてください。
締め付けが不十分な場合、水漏れの原因になります。

給水タンクに水を入れたあと、全てのタンクを本体の
元の場所に設置してください。

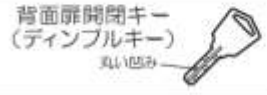
本製品をご使用中に、
本体のタンク装着面にホコリ等が付着した場合は
布等で拭き取ってから、タンクを設置してください。

注 意 ⚠

水が入った状態で給水タンクを持ち運ぶときは、キャップが上になるようにしてください。

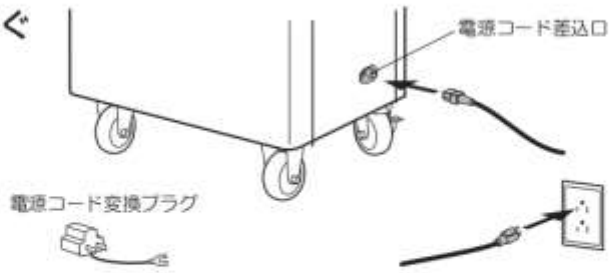
背面扉の施錠について

施設利用者が本製品を不用意に操作できないように背面扉を施錠してください。
付属品の丸い凹みがある背面扉開閉キーをお使いください。



2. 電源コードをコンセントにつなぐ

付属の電源コードの雌側を本体側面に差し込み、
雄側をAC100Vコンセントに差し込んでください。
電源コードの雄側にはアース端子が付いています。
アースの接続口がないコンセントをお使いの場合は
附属の電源コード変換プラグにつないでから、
コンセントに差し込んでください。

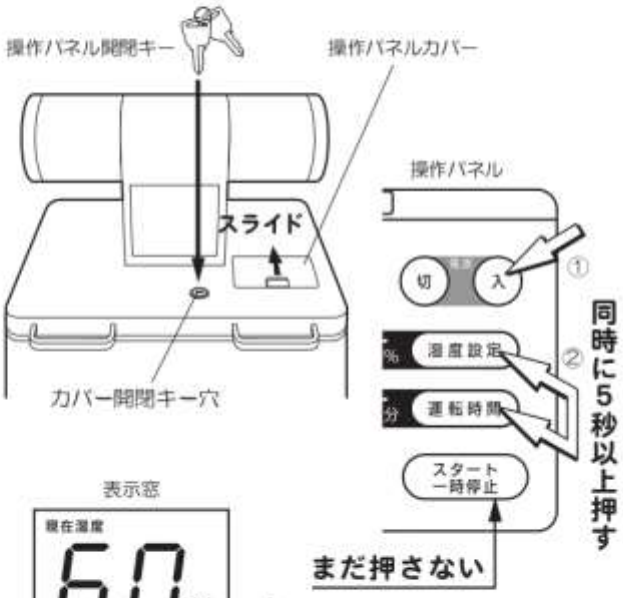


警 告 ⚠

AC100V以外の電源には絶対に接続しないで
ください！　火災･感電･機器が破損します。

3. 操作パネルカバーを開ける

本製品は、不用意な操作を防止するために操作
パネルにスライドカバーを設けて施錠できる
構造になっています。
本製品を操作する際は、附属の操作パネル開閉
キーで解錠し、操作パネルカバーを開けてくだ
さい。操作パネルカバーは前方向にスライド
すると開きます。



注 意 ⚠

スタートボタンはまだ押さないでください。

4. ポンプの中の空気を抜く

始動前に、下記の手順で必ずポンプ内の空気を
抜いてください。

① 給水タンクに水を入れたあと、電源「入」を押します。

②「湿度設定」と「運転時間」を同時に５秒以上押します。

③「ピッ」という音と正面の表示窓の３つの給水ランプ
が点滅し、本体内部の全ての電磁弁が開いた状態に
なります。これを「水抜きモード」といいます。

④ 背面のプライマリーポンプを手でゆっくり大きく
５回凹ませて製品内部に水を送り込み、ポンプ
内の空気を押し出してください。

警 告 ⚠

運転中は、プライマリーポンプを絶対に触らないでください。
プライマリーポンプが破損します。
運転停止中に上記の手順で操作したときにだけ、プライマリーポンプを安全に触ることができます。

注 意 ⚠

ポンプ内に空気が入っている状態で運転を開始すると正常に噴霧しません。
始動前に必ずポンプ内の空気を抜いてください。

注 意 ⚠

上記の手順以外では、ポンプ内の空気抜きはできません。必ず手順に従って空気を抜いてください。

注 意 ⚠

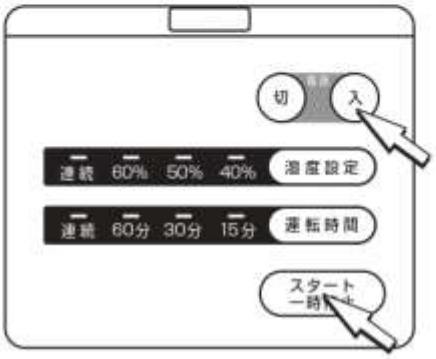
ポンプ内の空気抜きが不十分な場合、霧が粗くなることや霧が出ないことがあります。
6ページの手順に従って、再度ポンプの空気抜きを行ってください。

5. 運転開始

操作パネルを「入」「スタート」の順に押してください。
正面の表示窓に現在の湿度が表示され、
約30秒後に噴霧が始まります。

表示窓

操作パネル

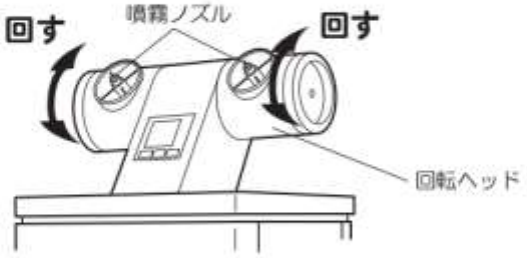


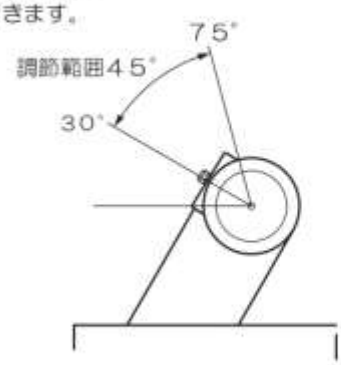
注 意 ⚠

霧から異臭がするときは、
内部の水が腐敗していることが考えられます。
13ページのメンテナンス洗浄を行ってください。

6. 霧が出る方向を調整する

噴霧ノズルからの霧の噴き出し方向は、本体上部の回転ヘッドを手で回すことで
角度を変えることができます。噴き出し角度は30°から75°の範囲で調節できます。
回転ヘッドは左右別々に動きますので、左右で違う角度で噴き出すこともできます。
お好みの角度に合わせてください。



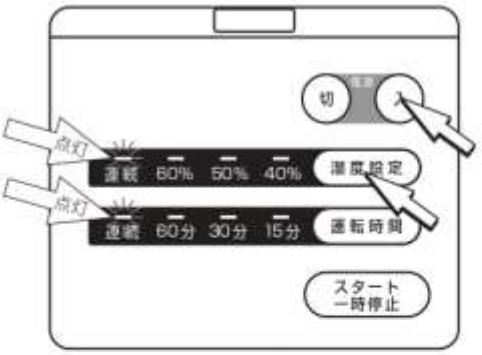


7. 湿度設定

本製品は、運転/停止の基準となる湿度を設定することができます。
室内が決められた湿度以下になったときに噴霧が始まり、設定した湿度に到達したときに噴霧を停止します。
本製品では右下の図のように4段階の湿度設定ができます。

■湿度の設定方法

電源「入」を押してください。
湿度設定と運転時間の両方の「連続」ランプが点灯します。
初期設定は「連続」になっています。
「連続」は、「スタート」を押すと、湿度に関係なく噴霧が
続く状態です。
「湿度設定」を押すごとに 40%→50%→60%→連続と
点灯するランプが変わります。
下記の例をご参考に、お好みの湿度をお選びください。



例.「湿度設定」を 40% にしたとき

室内の空気が湿度 40% 以下のときに噴霧が始まり、湿度が 40% になると噴霧を停止します。
室内の湿度が常に 40% になるように運転します。

電源を切っても湿度設定はそのまま

湿度設定は、電源をOFFにして再度電源をONにしたときも、前回の設定を記憶しています。
湿度設定を変更したいときは、上記の方法で再設定してください。

注 意 ⚠

本製品は、湿度設定で「連続」以外を選択した場合、18℃以下のときは動作しません。
表示窓の数字が点滅しているときは、18℃以下であることをお知らせしています。
冬場で室内が冷え切っているときは、暖房で室内を暖めてからご使用ください。

注 意 ⚠

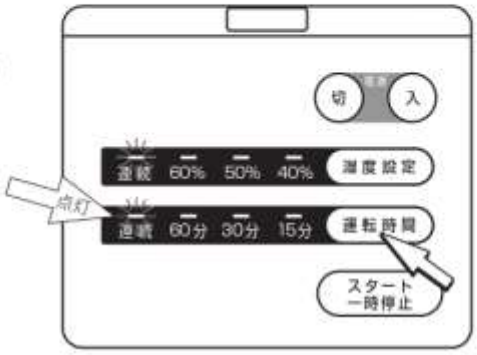
湿度設定を「連続」でお使いの場合、過剰な湿度によって壁などに結露が発生することがあります。
常時運転されるときは、最適な湿度に設定して、結露発生を防止してください。

噴霧しない間もファンは回っています

室内が設定湿度に達して噴霧を停止した状態でも、部屋の空気を吸い込んで、常に湿度を監視するために
ファンは回り続けています。故障ではありませんのでご安心ください。
運転中にタンクの水が空になったときは、噴霧もファンも停止します。

8. 運転時間

本製品には、右の図のように４段階の運転時間が設定ができます。



■運転時間の設定方法

初期設定は「連続」になっています。
「運転時間」を押すごとに 15分→30分→60分→連続と
点灯するランプが変わります。
下記の例をご参考に、お好みの運転時間をお選びください。

例1. 運転時間を 15分に設定したとき

「スタート」を押してから15分後に停止します。

例2. 連続運転をしている途中で設定時間を 15分に切り替えたとき

切り替えたときから15分後に停止します。

電源を切っても運転時間設定はそのまま

運転時間は、電源をOFFにして再度電源をONにしたときも、前回の設定を記憶しています。
運転時間を変更したいときは、上記の方法で再設定してください。

1時間に1回噴霧が止まります

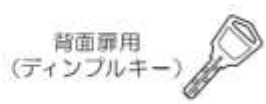
噴霧が1時間以上続くと、ポンプ内の空気を逃がすために30秒間噴霧が停止します。故障ではありません。

湿度と運転時間について

運転時間は湿度と関係なく時間経過を計測します。
例. 朝8時に運転時間を60分に設定した場合、途中で設定湿度以上になると噴霧を停止しますが、
運転時間はそのまま計測されて、9時になると運転を終了します。

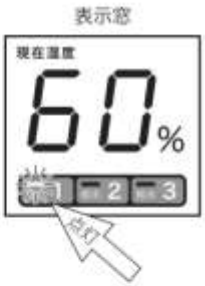
施錠について

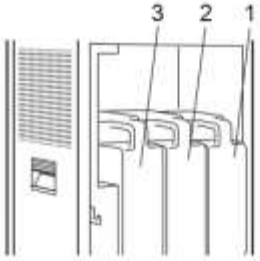
施設利用者が本製品を不用意に操作しないように
操作パネル及び背面扉を施錠してください。
附属の開閉キーをお使いください。



途中で運転を中止したいときは「スタート／一時停止」を押してください。

9. 水の補給





給水タンクには合計18リットル（1個あたり6リットル）
の水が入ります。
連続運転で、途中で噴霧の休止がなかった場合、
約4時間で全ての給水タンク内の水がなくなります。
1番のタンクの水がなくなると、表示窓の「給水1」の
ランプが点灯します。
全てのタンクの水がなくなると、内蔵の渇水センサーが
作動して自動的に運転が停止し、アラーム音が鳴ります。
水の補給は運転中でも行えますので、給水ランプが点灯している給水タンクを外して水を補給されることを
お勧めします。「スタート」を押して約3時間後に表示窓の給水ランプをチェックする習慣づけもお勧めします。

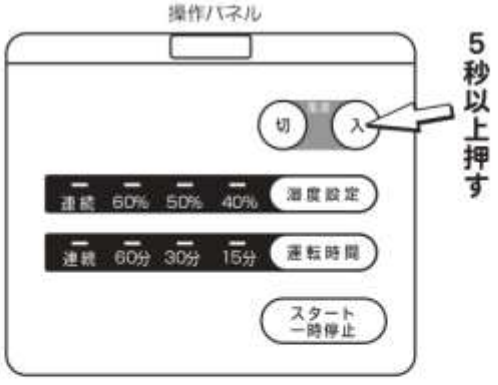
警 告 ⚠

水補給のために本製品から離れる際は、、事故防止のために必ず背面扉を閉めてください。

アラーム音を消すこともできます

アラーム音は水が補給されるまで鳴り続けます。水補給のためにその場を離れる際にアラーム音を消したいときは
下記10番で消音モードにすることができます。全ての操作音が鳴らない状態になりますのでご注意ください。

10. 消音モードについて



本製品は、全ての操作音を消す「消音モード」を備えています。
渇水時のアラーム音を消したいときは「消音モード」の一時的
なご利用をお勧めしますが、ボタン入力や給水のお知らせ音
も鳴らない状態になりますので、通常は操作音が出る状態に
戻されることを強くお勧めします。

「消音モード」の切替方法

電源がONの状態で「入」を5秒以上押すと「消音モード」に
切り替わります。再度「入」を5秒以上押すとピッという音が
鳴り、通常モードに戻ります。

注 意 ⚠

消音モードは電源ON/OFFをしても設定は記憶されています。
設定を戻す際は必ず上記「消音モード」の切替方法で操作してください。

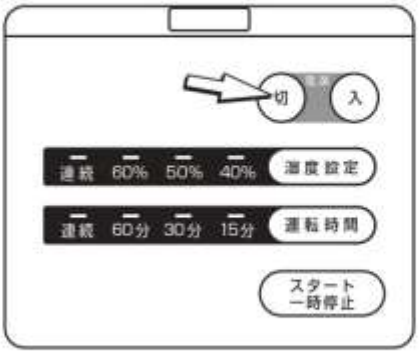
11. 運転の終了

運転を終了するときは「切」を押してください。
１日の運転が終了したあとは、
電源プラグをコンセントから抜いてください。

異臭の発生を防ぐために、
タンク内の水は必ず全て捨ててください。

翌日使用しないときは15ページの要領に従って
本体内部の水抜きを行ってください。

操作パネル



注 意 ⚠

水道水をご使用の場合でも、約1日で水中の塩素が蒸発し、
雑菌が繁殖することで異臭が発生します。

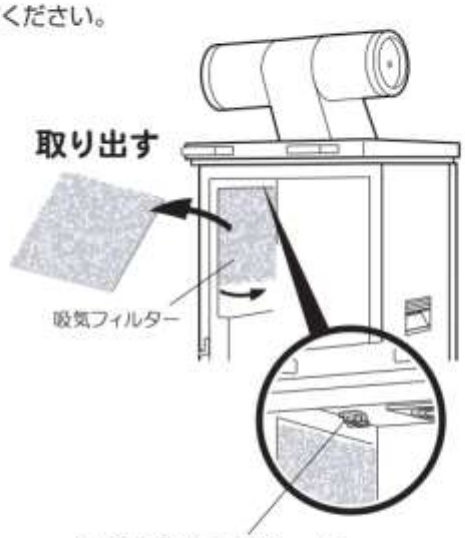
日頃のお手入れ

注 意 ⚠

日頃のお手入れは電源コードをコンセントから外して行ってください。

吸気フィルターの清掃

本製品は、吸気口にホコリ侵入防止のスポンジ製吸気フィルターを設けていますが、吸気フィルターが目詰まりすると吹き出し口からの通気が悪くなります。1週間に一度は吸気フィルターを外して、表面のホコリを掃除機で吸い取ってください。
吸気フィルターは、背面扉を開くと簡単に取り出せます。
フィルターの形は縦横や表裏の違いはありません。
向きを気にせずに、元の場所にはめ込んでください。



警 告 ⚠

吸気フィルターの取外し/取付けの際、
吸気フィルターの上部近くにある温湿度センサーには
絶対に触れないでください。
センサーが破損し、本製品が制御できなくなります。

注 意 ⚠

吸気フィルターを清掃しないままご使用を続けると、ホコリが水に混入してポンプが故障する恐れがあります。

ストレーナーの掃除

給水タンクに水を入れる際には、十分注意していても小さなホコリが入ることがあります。本製品の噴霧ノズルは、非常に小さな穴から細かい霧を噴き出すため、わずかなホコリでも目詰まりの原因になります。
このため、給水タンクのホコリを高圧ポンプに入れないためにストレーナー（細かい網目のフィルター）を設けています。1週間に一度ストレーナーを点検し、ホコリが溜まっているときは掃除してください。

ストレーナーの外し方

① 給水タンクを取り出してください。

② ストレーナーを取り外す前に、タンク装着部に残った水を拭き取ってください。

③ 給水タンクの3か所のはめ込み口にあるストレーナーをネジを緩める方向（左回り）に回して取り外してください。

④ 汚れが付いているときは、歯ブラシ等の柔らかいブラシで掃除してください。

注 意 ⚠

先にストレーナーを外すと
ホコリが混じった水が本体に入り、
目詰まり等の故障の原因になります。

注 意 ⚠

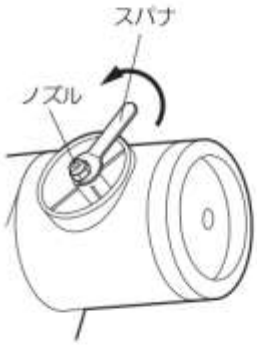
金属ブラシは使わないでください。ストレーナーの網目を傷めます。

ファンの掃除

本体内側の上部にはファンが付いています。
ここにもホコリが溜まりますので、１週間に一度は
掃除機でホコリを吸い取ってください。

ノズルの掃除

給水タンク部のストレーナーで取り切れなかった細かいホコリを取り除くために、
ノズルにもストレーナーを設けています。
長期間の使用中に少しずつホコリが溜まり、噴霧に支障を来すことがありますので
1か月に一度はノズルを点検し、ホコリが溜まっているときは掃除してください。



■ノズルの外し方

① 電源コードが抜かれていることを確認してください。
② 附属品のスパナでノズルを左回りに緩めると取り外せます。

注 意 ⚠

ノズルを外したあとの噴出口にゴミが入らないようにご注意ください。

③ ノズル後部のストレーナーにホコリが付着しているときは、
歯ブラシなどの柔らかいブラシでホコリを除去してください。

注 意 ⚠

ストレーナーの網目を傷めますので、
金属製のブラシは使用しないでください。

注 意 ⚠

ノズルにはOリングが付いています。取外しの際は無くさないようにご注意ください。

注 意 ⚠

ストレーナーに無理な力を加えると変形します。取扱いには十分ご注意ください。

④ ノズルを元の位置に取り付ける際は、手で回しながらはめ込んだあと、スパナで締めてください。
締付け強度は、手で緩められない程度で大丈夫です。

ホコリが溜まったまま使用を続けると、
水圧によってノズルのストレーナーが変形することがあります。
ストレーナーが変形しているときはノズルの交換が必要です。
お買い求めの販売店にご用命ください。

本体の掃除

本体の清掃は、外側内側ともに濡れ雑巾で拭いたあと、乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた水に雑巾を浸して拭いたあと、再度水拭きと乾拭きをしてください。

本体内部のメンテナンス洗浄

本製品には、本体内部の配管を洗浄する機能があります。
本製品を常時ご使用される場合は、基本的に内部洗浄は不要ですが、長期間運転を停止したあとに
使用を再開するときや、噴霧中の霧に異臭がするときは、本体内部をメンテナンス洗浄してください。

注 意 ⚠

メンテナンス洗浄中は湿度の制御はできません。
過剰な湿度によって結露ができないようにご注意ください。

洗浄液をご準備ください

本製品の内部配管洗浄には水道水の代わりに微酸性次亜塩素酸水を使用します。
市販の微酸性次亜塩素酸水（30ppm、pH5～7）をお買い求めください。
メンテナンス洗浄では次亜塩素酸水を噴霧しますが、30ppm濃度の微酸性次亜塩素酸水
は大気中に噴霧しても人体に影響はありませんので、ご安心ください。

注 意 ⚠

微酸性次亜塩素酸水には使用期限があります。必ず使用期間内に使い切ってください。
使用期限が過ぎた微酸性次亜塩素酸水は廃棄してください。
洗浄後は必ず普通の水を噴霧して、本体内に微酸性次亜塩素酸水を残さないようにしてください。

メンテナンス洗浄では、給水部／ポンプ／ノズルの全ての経路を洗浄してください。
洗浄には約30分かかります。

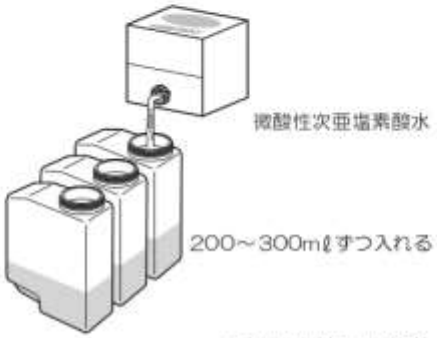
■給水部の洗浄

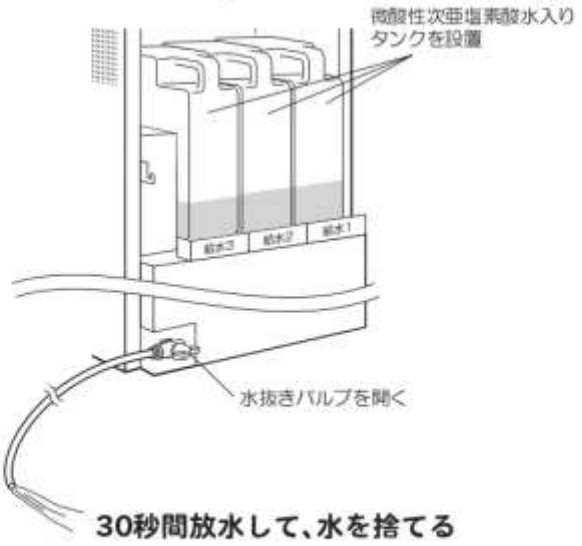
① 15ページの⑦までの手順で、本体内部の水抜きを
行ってください。
手順⑧では水抜きバルブだけを閉めて
水抜き用チューブは外さないでください。

② 3個のタンクに30ppm微酸性次亜塩素酸水を
200～300mℓずつ入れてキャップを閉めてください。

③ タンクをタンク受けに設置してください。
水抜きバルブを開いてチューブから水が出始めたら
約30秒そのまま放水し、その後水抜きバルブを
閉じてください。

④ チューブ接続部のリングを矢印の方向に押しながら
水抜き用チューブを引き抜いてください。





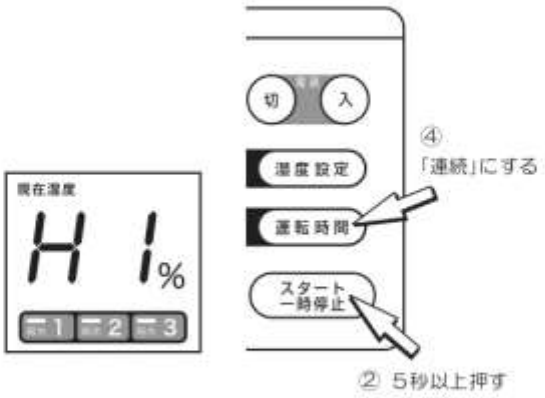
■ポンプ内部とノズルの洗浄

①6ページの要領でポンプ内の空気を抜いてください。

②「スタート」を5秒以上押してください。

③表示窓に現在の湿度と「H1」が交互に表示され
1分後に噴霧が始まります。

④噴霧開始後に「運転時間」を「連続」にして、
水がなくなるまで（200mℓ×3の場合：約15分）
噴霧してください。



⑤タンクの水がなくなるとアラームが鳴り、洗浄が終了します。
本体内に残った微酸性次亜塩素酸水を出し切る目的も兼ねて
3個のタンクに水を給水して、通常どおりご使用ください。

注 意 ⚠

微酸性次亜塩素酸水が本体内に残ると、内部部品が腐食する恐れがあります。洗浄後は必ず普通の水で通常運転を行い、本体内に微酸性次亜塩素酸水が残らないようにしてください。

メンテナンスモードの一時停止と再開について

メンテナンスモード中に「一時停止」を押すと、通常モード戻ってメンテナンスが停止します。
メンテナンスモードを再開したいときは、「スタート」を5秒以上押してください。

保管方法

本体内部の水抜き

異臭や凍結、錆の発生を抑えるために、ご使用後必ず本体内部を水抜きしてください。

① 電源が使えて、地面に水が流れても問題のない場所に移動して電源をつないでください。

② 本体から３個の給水タンクを取り外したあと、電源「入」を押し、「湿度設定」と「運転時間」を同時に５秒以上押してください。ピッという音で表示窓の３つの給水ランプが点滅し、本体内部の電磁弁が全て開いた「水抜きモード」になります。

③ 本体左下の水抜きバルブに附属品の水抜き用チューブを差し込んでください。

④ バルブを左に横向きにすると水抜き用チューブから水が出ます。

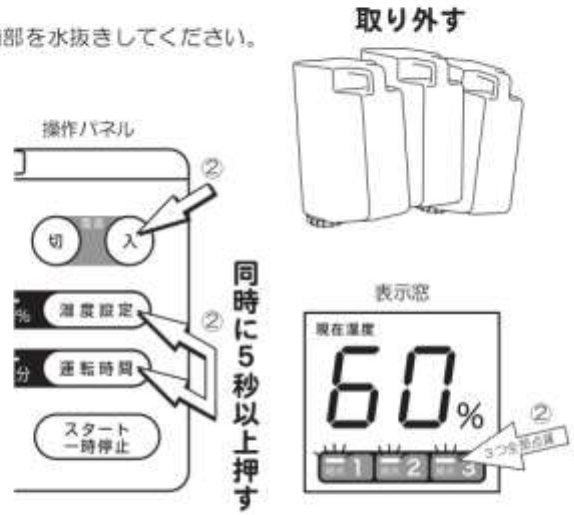
⑤ 水抜き用チューブからの水が出なくなるまで、プライマリーポンプを繰り返し押させてください。

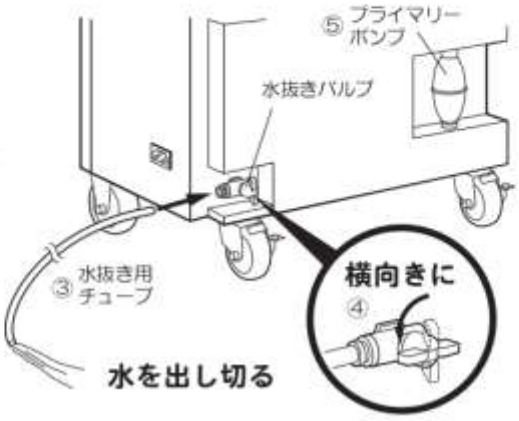
⑥ タンク装着部に残った水を拭き取り、アルコール系衛生剤で除菌してください。

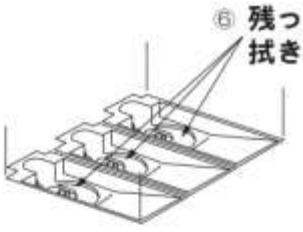
⑦ 給水タンクを空にして、タンク内部を乾かしてください。

⑧ 水抜きバルブを閉じて、右下の図のリングを矢印の方向に押しながら水抜き用チューブを外してください。

⑨ 電源「切」を押して「水抜きモード」を解除してください。







本体の保護

本体は汚れやホコリが入らないように布で覆って、直射日光が当たらない屋内で保管してください。

次回の使い始めには・・・

衛生環境を確保するために、必ず13ページからのメンテナンス洗浄を実施してからお使いください。
ご使用前には、ポンプ内部の空気（エアー）を抜く作業も必要です。６ページの４の作業を忘れずに行ってください。

故障かな？と思ったら

※運転中に噴霧が一瞬止まることがあります。
ポンプ内の空気を逃がすための動作ですので故障ではありません。

症　　状	ご確認ください	対処方法
運転しない （表示が点灯しない）	電源プラグが外れていませんか？	電源プラグを接続してください。
	ブレーカが落ちていませんか？	ブレーカをONにしてください。
給水タンクに水があっても 給水ランプが消灯しない	給水タンクが確実にセットされていますか？	給水タンクを本体に確実にセットし直してください。
噴霧しない	ノズルが目詰まりしていませんか？	ノズルを掃除してください。（12ページ参照） それでも直らないときは交換用ノズルをご用命ください。
	ストレーナーが目詰まりしていませんか？	ストレーナーを掃除してください。（11ページ参照） それでも直らないときは交換用ストレーナーを ご用命ください。
	全ての給水ランプが点灯していませんか？ （タンクが全て空になっていませんか？）	給水してください。
	湿度制御運転で18℃以下になっていませんか？ （湿度表示が点滅している）	暖房等で室内湿度を18℃以上にしてください。 18℃以下で噴霧させたい場合は、湿度設定の「連続」 を選択してください。
	タイマー機能が働いて停止していませんか？	運転時間設定を操作してください。
	ポンプの動作音は聞こえていますか？	ポンプの動作音が聞こえないときは弊社までご連絡 ください。
	ポンプ内に空気が残っているかもしれません。	再度ポンプ内の空気を抜いてください。（6ページ参照）
	給水ランプが消灯しているのに、 給水タンクが空になっていませんか？	湿水センサーのフロートに異物が詰まっている可能性が あります。17ページを参照してご確認ください。
霧が粗い	ノズルが目詰まりしていませんか？	ノズルを掃除してください。 それでも直らないときは当社窓口にご連絡ください。
	ポンプ内に空気が残っているかもしれません。	再度ポンプ内の空気を抜いてください。（6ページ参照）
吹出口から風が出ない	吸気フィルターが目詰まりしていませんか？	吸気フィルターを掃除してください。（11ページ参照）
	給水ランプが消灯しているのに、 給水タンクが空になっていませんか？	給水してください。（タンクが空になって停止している ときはファンも停止します。）
	ファンは回っていますか？	ファンが回っていないときは弊社までご連絡ください。
吹出口からの風が弱い	吸気フィルターが目詰まりしていませんか？	吸気フィルターを掃除してください。（11ページ参照）
	吸気口を塞いでいませんか？ 本体と壁までの距離が近過ぎませんか？	吸気口を塞いでいるものを取り除いてください。 吸気口から壁までは10cm以上離してください。
本体下部から水が漏れる	給水タンクのキャップは確実に閉まっていますか？	タンクのキャップを閉め直してください。それでも水が 漏れるときはキャップパッキンの劣化が考えられます。 交換用タンクキャップをご用命ください。
	水抜きバルブが開いていませんか？	水抜きバルブは確実に閉じてください。
湿度が上がらない	窓や扉が開いていませんか？	窓や扉を閉めてください。頻繁に戸を開閉する場所 では、湿度が上がりにくいことがあります。
	部屋が広すぎませんか？	仕様欄の「加湿の目安」をご確認ください。（19ページ）

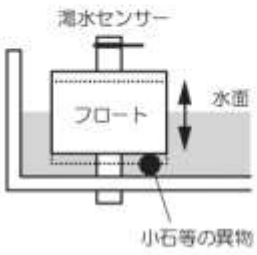
症　　状	ご確認ください	対処方法
操作音がしない	消音モードになっていませんか？	消音モードを解除してください。（9ページ参照）
お知らせアラームが鳴らない	消音モードになっていませんか？	消音モードを解除してください。（9ページ参照）
	水抜きモードになっていませんか？	水抜きモードを解除してください。（15ページ参照）
水抜きモードにできない	運転中ではないですか？	「一時停止」を押してから操作してください。
本体上部から水が漏れる	ノズルがきちんと取り付けられていますか？	附属品のスパナで締め付けてください。
給水ランプが点滅している	水抜きモードになっていませんか？	水抜きモードを解除してください。（15ページ参照）
アラームが止まらない	全ての給水ランプが点灯していませんか？ （タンクが全て空になっていませんか？）	給水してください。（製品内部で給水されたことを感知するまで、少し時間がかかります）

給水ランプが点灯しておらず、ポンプも動作しているのに噴霧しないとき、

給水タンクに水がないのに給水ランプが点灯しないときは
渇水センサーに異物が挟まっている可能性が考えられます。

本製品は、給水タンクの水がなくなったことを検知するために、渇水センサーを設けています。
渇水センサーは、水の量に応じて上下しますが、センサーに異物が挟まっていると
水がなくなってもセンサーが下がらないため、水量が検知できない状態になります。

1. 背面扉を開いて給水タンクを取り出してください。
2. 渇水センサーは、各給水タンク装着部の奥側に
   1個ずつ付いています。
3. 水面の高さによって
   フロートが上下しますが、
   底面に小石等の異物が
   あるとフロートが下がり
   きらずに途中で止まって
   しまいます。
4. 異物があった場合は
   取り除いてください。



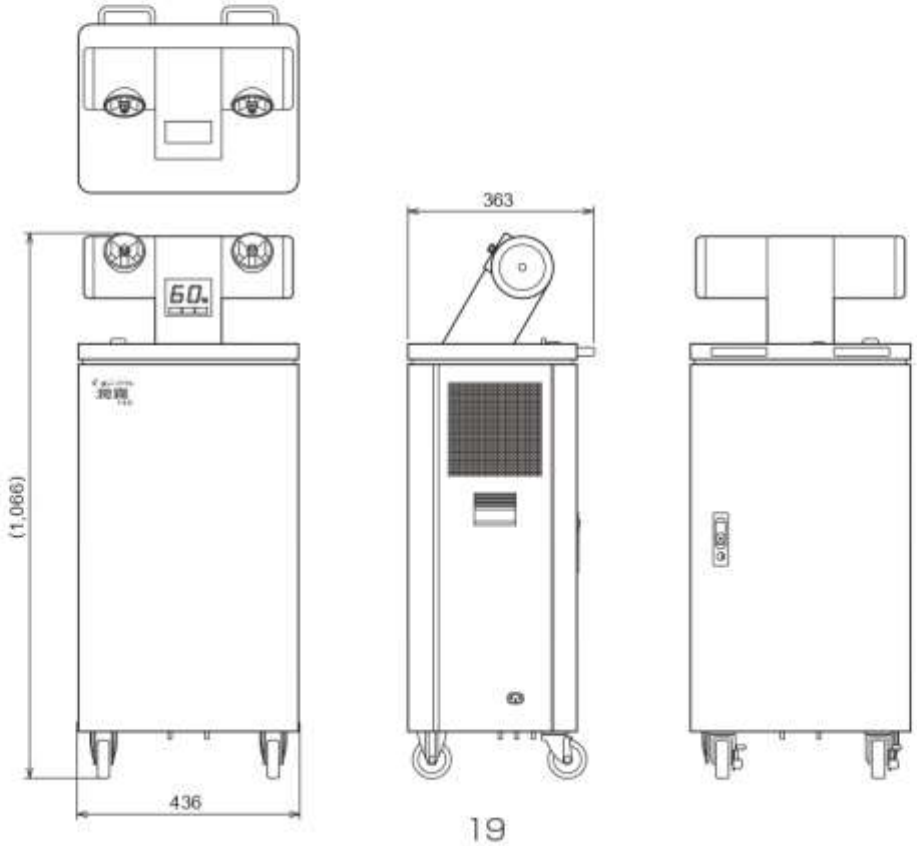
交換部品リスト

ご使用中の破損などで交換用の部品がご入用の際は、
お買い上げの販売店又は当社窓口に下記の部品番号でご用命ください。

<table>
<tr>
<td rowspan="2">潤霧 ノズル
229439
 </td>
<td rowspan="2">潤霧 タンク完成品
288875
 </td>
<td colspan="2">タンク部品単体をご用命の場合</td>
</tr>
<tr>
<td>潤霧 タンク本体
265158
 </td>
<td>潤霧
タンクキャップ
288877
 </td>
</tr>
<tr>
<td>潤霧 ストレーナー組立品
286239
 </td>
<td>潤霧 吸気フィルター
254684
 </td>
<td colspan="2">スパナ
288090
 </td>
</tr>
</table>

仕様

型式		潤霧-B
加湿方式		ノズル方式
加湿能力		4.7ℓ/h
加湿の目安		100～150m²(30～45坪)
電源		単相100V 50/60Hz
消費電力		73W
給水タンク容量		約6ℓ×3個(合計約18ℓ)
連続加湿時間		約4時間
内部ファン送風量		3.9m³/分
運転音(前面1mにおける参考値)		52dB
外形寸法(mm)		幅436 × 奥行き363 × 高さ1,066
質量(給水タンクが空の状態)		42kg
電源コード		125V　7A　　長さ 2m　　(変換プラグ付)
本体色		シルキーグレー(19-80A)
主な機能	湿度設定	40・50・60%・連続(4段階)
	現在湿度表示	7セグLED表示(自動運転時で湿度18℃以下の場合は点滅)
	センサー	湿度センサー、湿度センサー
	給水	各タンクが空のときに給水ランプ点灯とアラーム音でお知らせ
	切タイマー	15・30・60分(3段階)
	フィルター	吸気フィルター付
	操作音	消音機能付き



メンテナンスのご案内

メンテナンス試算表

2018年11月現在

初年度		2年目		3年目		4年目		5年目	
初期費用	シーズン終了	シーズンイン	シーズン終了	シーズンイン	シーズン終了	シーズンイン	シーズン終了	シーズンイン	シーズン終了
機器・予備品購入費用		軽メンテナンス		重メンテナンス		軽メンテナンス		重メンテナンス	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

※金額についての詳細はお問合せください。

<メンテナンスについて>

- 6年目以降も同じサイクルの実施になりますが、概ね6年～8年を目安に新規機器への更新をご計画ください。
- 搭載ポンプのメンテナンス推奨稼働時間は、2,000時間で軽メンテナンス、4,000時間で重メンテナンスですが、シーズン途中のメンテナンスはできないため、シーズンごとに実施の試算としています。
- ノズルの目詰まりはご使用いただく水道水の水質によって異なります。交換用の予備ノズルを常備いただくことを推奨します。
- 清掃などの日常メンテナンスはユーザーさまに実施いただく必要がございます。
- メンテナンスの実施においての保証期間の延長はございませんので、予めご了承ください。
- 不具合時の対応について、即日訪問できない場合があります。
  また、お預かりしての修理にはお時間を要しますので、シーズン前のメンテナンス実施をお願いいたします。

<費用について>

- メンテナンス費用は基本実施項目のメンテナンス費用です。
  故障等により追加修理が必要の場合は、別途修理費用が発生いたします。
- 保管など、その他必要な経費につきましては貴社にてご試算ください。

<配送について>

- 初回ご契約時は、貴社ご指定場所へ配送いたします。
- 通常のメンテナンスは、ご担当窓口の営業員にご連絡いただいた上、弊社工場（兵庫県西脇市）にご郵送いただき実施しています。
- 別途輸送費が必要で、地域ごとに異なりますので、下記の「地区別往復輸送費」をご参照願います。

基本メンテナンス交換部品

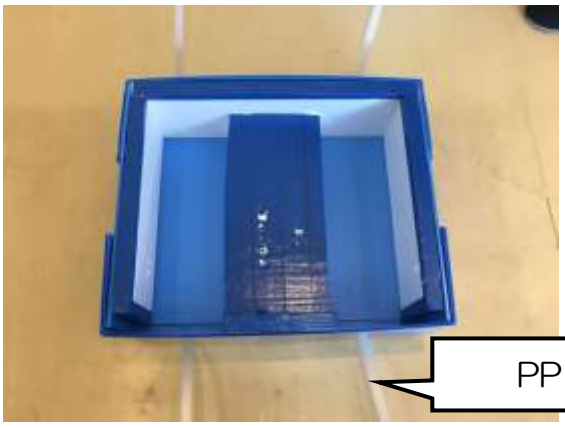
部品	数量	軽メンテナンス	重メンテナンス	部品・消耗品（交換が必要な場合）
潤滑吸気フィルタ	1	●	●	
O-リング	2	●		
SKYパッキン	4	●		
ポンプ本体	1		●	
ノズル	2	●	●	
吸排弁一式	1			●
調圧弁一式	1			●
オイルシール NOK SC 8 18 7 NBR	2			●
オイルシール TC型 AE 1020 E1	1			●
シーリングパッキン C-300-EF-5-10 0.5m	1			●
シーリングパッキン C-300-EG-5-10 4m	1			●
スポンジパッキン 1m	1			●
DCファン	1			●
樹脂フィンガード	1			●
電磁弁 AB4X	1			●
電磁弁 VDW22JA	3			●
レベルスイッチ	3			●
潤滑センサー基板（ハーネス含む）	1			●
ユニット型電源 HWS	1			●
サイレンサー	1			●
潤滑B操作パネル（制御基板含む）	1			●
潤滑B表示パネル（表示基板・ハーネス含む）	1			●

地区別往復輸送費

※離島は別途ご相談ください

地区	輸送費
北海道	38,000
東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）	31,000
関東（東京、千葉、茨城、栃木、群馬、埼玉、神奈川）	24,000
中部（新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知）	24,000
近畿（滋賀、京都、奈良、三重、和歌山、大阪、兵庫）	21,000
中国四国（鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知）	23,000
九州（福岡、大分、宮崎、熊本、佐賀、鹿児島、長崎）	26,000
沖縄	38,000

返却時の梱包手順

①		・梱包前に【メーカー取説 P15】の「本体内部の水抜き」を参考に、本体と３つのタンクの中を空にしてください。 ご注意 水抜き作業をおこなわずに梱包しないでください。 輸送中にタンク内の水が漏れて、他のお客様のお荷物を汚してしまった場合には、損害賠償請求をさせていただく場合がございます。
②		・下箱のしたに PP バンドを２本引きます。
③		・下箱の【前】と本体の【前】をあわせて本体を箱の中に入れます。 大変重たい機械です。 事故防止のため、なるべく複数人で おこなっていただくことをおすすめします。

④		・回転ヘッド部分を梱包パッキンで覆います。
⑤	 回転ヘッドをすべて覆ってください。	 この状態ですと輸送中に破損してしまう可能性があります。
⑥		・返却部品を袋の中にいれます。 ①電源コード ②水抜き用チューブ ③かんたん取説 ④スパナ ⑤背面扉開閉キー（ディンプルタイプ） 操作パネル開閉キー （キーは１つのリングに２つ付いています。） ⑥電源コード変換プラグ

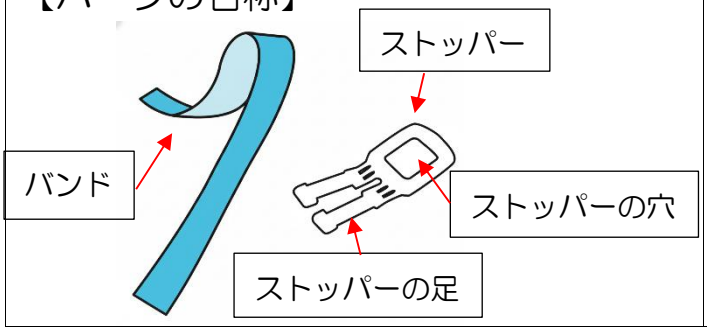
⑦		・本体前側の隙間に、返却備品袋と取扱説明書を入れてください。
⑧		・下箱の【前】 本体の【前】 上箱の【前】 をそろえて、本体に上箱を被せてください。
⑨		・PP バンドをとめてください。 PP バンドのとめ方は取り扱い説明書最終ページにある「梱包時 PP バンドの使用方法」にてご確認ください。
	▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。 返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。 梱包の箱に貼り付けてあります。 お届け時の伝票の下にある赤い伝票が 返却用の伝票です。 	

梱包時ＰＰバンドの使用方法

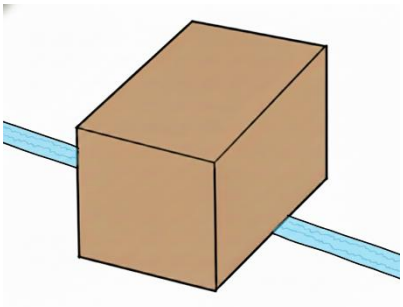
下記手順を参考にしても分からない場合は、動画でも確認できます。
QR コードまたはリンクからご視聴ください。

https://youtu.be/8ZejU--Okl4

【パーツの名称】



①



バンドを箱の下に敷く。

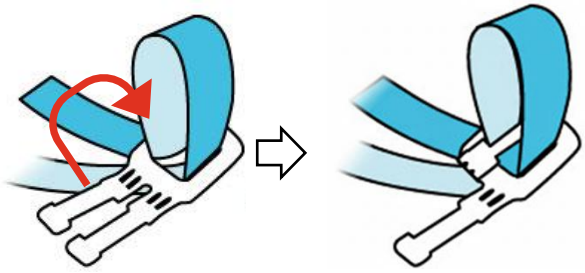
②

バンドの先端に輪を作る。

③

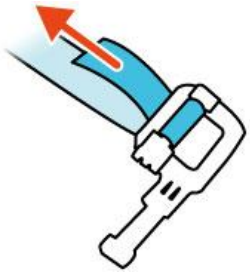
作った輪をストッパーの穴に通す。

④



ストッパーの足１本をバンドの輪の中に折りたたむ。

⑤



バンドの先端を矢印の方向に引っ張る。

⑥

荷物の下に通した反対側のバンドの先端も同様に（バンドの向きは反対となります）②～⑤の手順を行う。

⑦

バンドを両端に引っ張り、しっかり締める。